



名入れカレンダー約1,600点が並ぶ、国内最大級の専門展示会

カレンダー新作展示会

2025年版

開催 4月4日(木) ▶ 5日(金) **入場無料**

4日 午前10時30分～午後5時 ※4日の開会式は午前10時から

5日 午前9時30分～午後5時

- 2025年版新作カレンダー約1600点の公開展示
- JCAL選出の優秀受賞作品の発表展示
- 中南米諸国など海外カレンダーの展示

カレンダープレゼントなど
ご来場特典もございます!
楽しみにお越しください。

北とぴあ

展示ホール B1F

〒114-8503

東京都北区王子1-11-1

- JR京浜東北線王子駅北口より徒歩2分
- 都電荒川線 王子駅前駅より徒歩5分
- 東京メトロ南北線 王子駅5番出口より直結



同時開催



暦文協ミニフォーラム

「カレンダーデザインの変遷とその未来」

4月4日(木)

14:00～16:00(受付13:30より)

場所/展示会内特設会場

※万一定員を超えた場合には立見となる場合がございます。予めご了承ください。

出演

全国カレンダー展実行委員長

大沢 秀紀 氏

TOPPAN株式会社
情報コミュニケーション事業本部
クリエイティブ本部長

受賞作品デザイン担当

島田 真帆 氏

TOPPAN株式会社
クリエイティブ本部GAC部カレンダーセンター
アートディレクター

コメンテーター

奥野 卓司 氏

暦文協常務理事、
(公財)山階鳥類研究所シニアフェロー、理事、
関西学院大学名誉教授

JCAL企画委員長

中戸 彦一 氏

株式会社中戸若松
代表取締役

JCAL優秀作品受賞会員

佐々野 昌男 氏

株式会社新藤慶昌堂
取締役商印営業本部長
カレンダー事業本部長

司会

中牧 弘允 氏

暦文協理事長、
国立民族学博物館名誉教授、
吹田市立博物館特別館長

参加無料

12月3日は カレンダーの日

明治5年(1872)11月9日、宮中において改暦式が行われ、大勢の役人が参席する中、明治天皇は大臣を従えて便殿に出御し、伊勢神宮を遥拝して祝詞を読んで事の由を告げられました。政府は、明治天皇の詔書と太政官布告を発して「来る12月3日を以て明治6年1月1日とし太陽暦を実施する」と発表。長い間、太陰太陽暦で生活していた国民にとって、突然の改暦は大変大きな衝撃でした。しかしその結果、太陽暦を採用する諸外国と足並みを揃えることになり、日本は文明開化の道を歩み始めます。この史実に基づき昭和63年(1988)に、全国団扇扇子カレンダー協議会、並びに全国カレンダー出版協同組合連合会によって12月3日は「カレンダーの日」と定められました。

主催

日本カレンダー
暦文化振興協会

同時リモート配信

4/4(木)当日14:00より、インターネットを用い同時配信を行います。
参加/閲覧方法は暦文協のホームページにてご案内いたします。

お問い合わせ: 暦文協事務局

TEL:03-5816-5066

FAX:03-5816-5036



<https://www.rekibunkyo.or.jp>

展示会場内ステージにて



主催:全国カレンダー出版協同組合連合会

後援:全国団扇扇子カレンダー協議会、日本カレンダー暦文化振興協会



お問合せ: 全国カレンダー出版協同組合連合会事務局

〒110-0016 東京都台東区台東1-27-1

TEL.03-5816-5035 <https://jcal.jp>